下野市

公式サイト　URL http://www.city.shimotsuke.lg.jp/

■市花　ゆうがお

■市木　けやき

■市鳥　うぐいす

市町類型	2－1	R2 年国調人口		59, 444人
財政力指数（R 元～R3 平均）	0. 719	住民基本台帳（R4.3.31）	人口	59, 929人
職員数（R4.4.1）	403人		世帯数	24, 947世帯
職員 1 人当り人口	148人	面積（㎢）		74.59

■沿革

古くは旧石器時代より先人が居住した痕跡があり、6～7世紀の古墳時代には有力な豪族が現れました。天武天皇の白鳳時代には下野薬師寺が建立され、日本三戒壇のひとつである戒壇が置かれました。また、奈良朝後期には国家鎮護を祈念し聖武天皇により国分寺が建立されるなど、古代東国地方の仏教文化の中心地として栄えました。

近世においては、日光街道の宿場町（小金井宿・石橋宿）が置かれ、明治 18 年には鉄道が開通し、馬市が盛んに開かれるなど、交通の要衝として大変な賑わいを見せました。

平成 18 年 1 月 10 日、南河内町、石橋町、国分寺町が新設合併し、現在に至っています。

■地勢

下野市は、関東平野の北部、栃木県の中南部に位置し、南北約 15.2km、東西約 11.5km で、北は県都宇都宮市、南は小山市に隣接しています。

標高約 40～80m と起伏がなく、比較的平坦な地形です。東部に鬼怒川と田川、西部に思川と姿川が貫流し、その両岸には古くから肥沃な水田地帯が広がっています。畑地では特産品のかんぴょう等が栽培され、都市近郊農業が発達しています。

また、市の中心を南北に JR 宇都宮線、国道4号線が走っています。小金井駅・自治医大駅・石橋駅を中心に基盤整備が進み、良好な住宅地が形成されています。

■観光

下野市には、国指定の下野薬師寺跡、下野国分寺跡・同尼寺跡、小金井一里塚、県指定の児山城跡をはじめ貴重な史跡が多く残り、また、その周辺には古墳時代の有力な豪族による大小の古墳が数多く点在しています。これらの史跡を保存整備しながら、有機的に連携させ、有効な観光資源としての活用を進めています。特に、下野国分寺尼寺跡周辺にある天平の丘公園では、春に「天平の花まつり」、夏に「しもつけ燈桜会」、秋に「天平の芋煮会」を開催し、関東周辺から多くの観光客が訪れるなど、史跡を通しての地域間交流が盛んです。

新4号国道沿いには、市内観光のハブ拠点として地域振興交流施設「道の駅しもつけ」があり、地元の新鮮で安全な野菜や、下野ブランド認定品、カンピくんグッズを始めとした物産の販売、地元食材を活かした様々なグルメが楽しめます。

■産業

農業：

農業は、首都圏にある有利な立地条件を活かした都市近郊農業により、米麦を中心にほうれんそう、ねぎ、たまねぎ、トウモロコシ等の露地野菜、いちご、きゅうり、トマト等の施設園芸が営まれるとともに、肥育牛との複合経営も盛んです。また、特産品でもあるかんぴょうの生産量は全国一を誇っています。近年では、6 次産業化に取り組む農家も見られるなど、新たな動きもあります。

工業：

工業は、輸送用機械器具、食料品、プラスチック製品などの製造業の割合が大きくなっています。恵まれた自然環境や交通の利便性に優れた立地条件、充実した医療資源を活かし、物流関係、医療、福祉系産業の誘致や農産品加工など食品関連産業の育成・支援に努め、働きやすく住みやすい環境づくりによる雇用の確保を図るため、新産業団地の整備を進めています。

商業：

小売店舗数、小売業従業者数は、減少傾向にあり、小売店舗数の減少は、市内の市街地・商店街での空き店舗の増加をまねき、商店街の活気がなくなるなどの問題が生まれています。そのため、小売店の事業継承を支援して存続を図るほか、駅前等主な市街地に商業・サービス業を集積させる賑わいづくりが必要です。

■その他特徴のある事項

地域間交流の一環として、国分寺を冠した町が全国に2つだけだったことから、平成 17 年に香川県・旧国分寺町と親善友好都市提携に至りました。両町とも平成 18 年 1 月 10 日の合併により、現在、香川県国分寺町は高松市、本県国分寺町は下野市となりましたが、以後も市内小学生を中心に相互訪問等により交流を深めており、平成 25 年 6 月には「歴史文化交流協定」、「災害時における相互支援協定」を締結しました。

また、昭和 60 年に岐阜県・旧根尾村から、日本三大桜の一つである根尾谷の淡墨桜の実生苗を譲り受け、天平の丘公園内に移植したことが縁となり、同村が合併した岐阜県・本巣市と令和 4 年 3 月に「友好都市協定」、「災害時における相互応援協定」を締結しました。天平の丘公園の淡墨桜は毎年可憐な花を咲かせ、春の訪れを知らせるとともに、多くの人の目を楽しませています。

国際交流として、「石橋」という同じ地名が取り持つ縁をきっかけに、昭和 41 年から下野市（旧石橋町）とドイツのディーツヘルツタール（旧シュタインブリュッケン）との国際交流・人材育成を行っています。昭和 50 年には姉妹都市の盟約を結び、更に平成 21 年には合併後改めて姉妹都市提携調印を行うなど、国際交流では県内でも古い歴史をもっており、国を越えた深い絆が築かれています。

■施政方針

少子高齢化が進展する中、下野市においても地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していく「地方創生」の取組が更に必要となっています。

令和 3 年度～令和 7 年度を計画期間とする第二次下野市総合計画後期基本計画では、下野市の将来像「ともに築き　未来へつなぐ　幸せ実感都市」の実現に向け、「人いきいき」、「街いきいき」、「暮らしいきいき」の3つの重点プロジェクトを設定し、成果が強く望まれる施策・事業について、施策体系の枠組みを超え、横断的かつ総合的に進めることにより相乗的な効果を発揮させ、その波及効果が期待できるものとしています。

各施策・事業を強力に推進するにとどまらず、施策・事業の相乗効果を最大限に高めることにより、住みよさ県内ナンバー1を目指し、重点的かつ戦略的な展開を図ります。

～重点プロジェクト　概要～

【人いきいきプロジェクト】

市民が「幸せ」であるために重要だと思うことの上位に「健康」や「家族」があげられています。下野市の全国トップクラスの医療環境を活かすとともに感染症対策等を充実して、子どもから高齢者まで健康な生活を送ることができ、また、人・家族が安心して生活できる医療と福祉の連携により、健康寿命の延伸につながるプロジェクトを展開します。

また、生涯にわたる学び・活動の場の充実に取り組むとともに、ICTを活かした教育、小中一貫教育の推進など、教育・学習環境の向上をハード・ソフト両面から図り、いきいきと活力に満ちた多くの市民が集うプロジェクトを展開します。

【街いきいきプロジェクト】

自然災害が比較的少ない下野市においても、「下野市国土強靭化地域計画」に基づく災害時に備えた体制と防災・減災施設等の整備や「下野市都市計画マスタープラン」に基づくまちづくり等を推進し、市民が生涯安心して幸せに暮らすことができる住環境の整備充実を図ります。また、充実した交通基盤・地域医療、東京圏へのアクセスが容易な地理的優位性などを活かし、定住促進に向けたプロジェクトを展開します。

担い手農家への農地の集積等による豊かな農畜産物の生産や歴史・文化資源、道の駅を活用したシティセールスの取組を推進し、下野ブランドの魅力向上のための施策を展開します。また、既存産業の活性化、魅力ある産業や雇用創出を図るため、産業団地の整備等、人や企業から選ばれる産業環境づくりを促進し、交流人口を増やす取組を通して、街がいきいきと輝くプロジェクトを展開します。

【暮らしいきいきプロジェクト】

生活環境の向上のほか、近年頻発する自然災害等に対し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、「下野市自治基本条例」により地域の絆の強化、協働のまちづくりを推進するなど、市民力の向上を図ることにより市民がいきいきと暮らせるプロジェクトを展開します。

また、暮らしを支えるための行政サービスの充実に向け、「総合計画」に基づく部門別計画を推進するとともに、行政機能の更なる効率化を図るなど創意工夫による行財政運営を引き続き進めます。特に新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会経済活動に甚大な影響を及ぼしており、市の財政需要の増大や税収減なども想定されることから、健全な財政運営にこれまで以上に留意していきます。

■重要事業

事業名	予算額（千円）	事業の概要
がん・結核・自殺予防対策の推進	139,721	◇がん（胃・大腸・肺・前立腺・子宮・乳）検診、胃ハイリスク検査の実施 ◇がん患者医療用ウィッグ等購入費助成 ◇結核健診の実施 ◇こころの健康相談、自殺対策講演会の実施
地域子ども・子育て支援事業の推進	588,206	◇保育園、児童館、学童保育の運営、特別保育補助 ◇病児・病後児保育事業等の各種子育て支援、子育て支援センター運営
障がい者（児）施設整備の推進	30,574	◇旧国分寺西小学校改修事業 ◇障がい者就労支援施設整備事業
小中一貫教育の推進	2,311	◇市全体の小中一貫教育推進のための協議会運営 ◇南河内中学校区小中一貫教育推進協議会の開催 ◇義務教育学校設立準備委員会の開催
情報教育の推進	41,424	◇教育情報ネットワークの管理運営 ◇グループウェアの共同利用により教育委員会・教職員間の情報共有
生涯学習の推進	2,314	◇生涯学習情報誌エールの発行 ◇生涯学習推進協議会議の開催

		◇ふれあい学習推進委員会議の開催
各種文化団体活動支援	6,114	◇しもつけ市民芸術文化祭の開催 ◇下野市文化協会の運営補助 ◇小学校及び中学校において芸術鑑賞事業の開催
通学路安全対策の推進	60,500	◇スクールガード事業等（新1年生のホイッスル購入、スクールガードボランティアの保険加入）
協働のまちづくりの推進	22,630	◇シモツケ大学（「ふるさと」を支援する地域づくり団体の設立支援）

■地域指定の状況について

栃木県南部地方拠点都市（平成 6 年 9 月指定）

栃木県高度技術産業集積活性化計画の対象地域（平成 12 年 8 月）